

|           |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
|-----------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|--|-------------|--|---------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----|-----|
| 事業所名      |                 | こども発達支援センターポレポレの木                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |  |  |  | 児童発達支援プログラム |  | 作成日                                                                                   | 2025 年 | 3 月 | 4 日 |
| 法人（事業所）理念 |                 | ・子どもがイキイキと生きる力を育てよう　・本当の遊ぶ・学ぶ・食べるを考えよう　・ゆっくりのんびり楽しく子育てしよう                                                                                                                                                                                                                                                         |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
| 支援方針      |                 | 当事業所として特性のあるお子さまの発達の側面から「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域において、将来日常生活や社会生活を円滑に営めるようにすることを目標とし、ご家庭とも連携支援していきます                                                                                                                                                                                      |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
| 営業時間      |                 | 9 時0 0 分から18 時0 0 分まで                                                                                                                                                                                                                                                                                             |  |  |  | 送迎実施の有無     |  | なし                                                                                    |        |     |     |
|           |                 | 支 援 内 容                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
| 本人支援      | 健康・生活           | ・健康状態の維持・改善…健康な心と体を育て自ら健康で安全な生活を作り出す事を支援する　意思表示が困難である子どもの特性等に配慮し、異変に気付けるよう観察する<br>・生活リズムや生活習慣の形成…睡眠、食事、排泄等の基本的な生活リズムを身に付けられるよう支援する<br>・基本生活スキルの獲得…身の回りを清潔にし、食事、衣服の着脱、排泄等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう支援する　家庭での食事に関して適時必要な評価を実施し支援の提案を行う<br>一対一での対応を基本とし、視覚情報の提示（イラスト等）など子どもの特性に合わせた指導を実践する                                 |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
|           | 運動・感覚           | ・姿勢と運動、動作の向上…1人1人の子どもの適切に評価し、日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持の改善及び習得　関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る<br>子どもの特性に合わせて、自力での身体移動や歩行など日常生活に必要な移動能力の向上の為、運動に関する支援プログラム（サーキット、ボール遊び、鬼ごっこ等）を実施する<br>・保有する感覚の総合的な活用…子どもの発達段階及び特性に配慮した視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できる様な遊び（新聞遊び、ボールプール、トランポリン、粘土遊び等）を通して支援する感覚や認知の特性（感覚過敏や鈍麻）を踏まえ、感覚の偏りに対する環境調整等の提案及び支援を行う |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
|           | 認知・行動           | ・認知の発達と行動の習得…視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、認知機能の発達を促す為に制作活動（折り紙等）や身体遊び（平均台など）を学習プログラムとして活用する<br>空間・時間・数等の概念形成の習得…物の機能や形、色、音が変化する様子、空間・時間等の概念の形成を図る事により、認知や行動の手掛かりとして認知教材（型はめ等）を活用する<br>・対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得…感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難から生ずる行動障害に対して事前に環境調整など予防策を講じ、適切な行動の獲得に向けた適切な支援を行う                                        |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
|           | 言語<br>コミュニケーション | ・言語の形成と活用…一人一人の子どもの適切に評価し、具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援プログラムを立案実施する<br>・言語の受容及び表出…子どもの発達段階に応じた話言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりする等、言語を受容し表出する支援を行う<br>・コミュニケーションの基礎能力の向上と手段の選択と活用…子どもの発達段階に対応するコミュニケーション手段（指差し、身振り、サイン等）を選定し、環境の理解と意思の伝達ができる機会を積み重ねていけるように環境及び関わり方の調整を実施する                |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
|           | 人間関係<br>社会性     | ・他者との関わり（人間関係）の形成…人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う<br>・自己の理解と行動の調整…子どもの発達段階に応じた支援者の関わり方を提案し、大人を介して自分のできる事、できない事など自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるようになるための支援を実施する<br>・仲間作りと集団への参加…子どもの発達段階や特性に合わせ、子ども自らが自発的に集団に参加し、手順やルールを理解し遊びや集団活動に参加できるよう支援していく                                      |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |
| 家族支援      |                 | ①児童の発達②支援内容③家庭生活④集団生活⑤きょうだい児等⑥福祉制度等家族のニーズに応じ、①から⑥などの相談援助を事業所にて対面実施<br>利用児に対する支援内容や子育ての困りごとに関する説明/相談/助言などを実施                                                                                                                                                                                                       |  |  |  | 移行支援        |  | 進路先や移行先への相談援助や情報提供を行う<br>学校等への訪問支援や担当者会議等を通じて児童の心身の状況や生活環境などの情報連携を実施　放課後等児童クラブ等との連携支援 |        |     |     |
| 地域支援・地域連携 |                 | 他事業所との交流や情報交換/相談支援事業所との連携、情報共有<br>保育園・医療機関等との情報連携や調整、支援方法や環境調整当に関する相談援助等の取り組み                                                                                                                                                                                                                                     |  |  |  | 職員の質の向上     |  | 定期的なミーティングや活動や支援についての会議の実施<br>職員の各種勉強会や研修への参加<br>職員間での研修内容の情報共有                       |        |     |     |
| 主な行事等     |                 | 季節に合わせた製作活動（季節の行事や四季を感じられる製作物活動・展示）<br>当事業所終了の利用児に対して、参加できるイベントを1回/年　案内し、開催している                                                                                                                                                                                                                                   |  |  |  |             |  |                                                                                       |        |     |     |